

村の世帯・人口

昭和49年3月末日現在

総世帯数 2,459戸

人口 11,376人

男 5,759人

女 5,617人

3月の人口移動

出生 20 死亡 5

転入112 転出123

婚姻 9 離婚 0



広報にいはら

三、告知板

一、日本脳炎の予防接種実施 7

一、生活テレビ番組 7

「くらしとあなた」案内 7

- 一、選挙啓発シリーズ 2
一、世帯更生資金貸付制度のあらまし 3
一、西原村普及事業連絡協議会
第十回定期総会、
及び第四回実績発表会 4

- 一、西中、女子バスケットチーム
二度目の全島征覇 6

二、村民の広場

- 一、昭和四九年度の職員採用試験終る 1
一、第一回体力テスト 1

発行所
西原村役場
電話 (098995) 5011
5013・5012
印刷所
桑江印刷所
電話 (098995) 2365

一、村政情報

あせってる 今があなたの赤信号。

昭和四九年度の

職員採用試験終る

去る四月十八日、二十四日の両日 村役場ホールで昭和四十九年度の職員採用試験が行なわれました。

職員採用の試験制、二年目の今年は、定員六名に対し二四名が応募し競争率四倍という厳しいものでした。

四月十八日は一次試験が午前十時から十二時までの二時間行なわれ、二十四名から十一名の受験者が選抜されました。



最後の一秒まで全力を……。

四月二十四日は、午前十時半から二次試験が実施され、晴れて職員採用候補者の合格者選抜が行なわれました。

合格者は次の通りです。

呉屋清（津花波）：総務課、伊芸繁（与那城）：厚生課、玉城善一（与那城）：建設課、新垣明美（兼久）：水道課、城間キヨ（津花波）：教育課

第1回 体力テスト実施

去る四月二十七日、午後一時半から、坂田小学校体育館で村教育委員会主催が第一回体力テストが行なされました。

年令よりも若い人、年令よりも老いた人、あなたの体力をためしてみませんか。というかけで、その日は二〇名近い男女が集り、体力測定への挑戦が行なわれました。

測定種目は別表の通り五種目で各部門に、笑い声と、深刻な顔が入り乱れての測定風景となりました。

各種目の測定の結果、男女とも反復横とび垂直とびは、みんな、かなりの出来だったが握力となると逆に男性も女性も、かなりの低調ぶり。

ジグザグドリブルにいたっては男女とも最低のできで、みんな自信喪失でガッカリの様子。

急歩は男性は、まあまあで、女性はまるでダメ。

その日、年令よりも肉体は若いと判定を下された人は五名、まあまあが、年令よりも肉体は老化氣味と宣告された人八名で、一喜一憂の複雑な会場ムード。

約諾として、みんなで体力づくりに今後とも頑張って行きましょうと、『若さへの挑戦』の誓いが、新たにされた愉快な第一回体力テストでした。

(2)

前号で選挙とは、私たちの現代社会の間接民主制を運営する代表者を選ぶという行為で、そのことがいかに大切なものであるかが、よくわかつていただけたと思います。

今月は、その選挙という権利を法律的に決めるところの「選挙権」ということについて考えて行きましょう。

昭和二〇年に完全な普通平等な選挙が行なわれ、選挙権、すなわち公職につくべきものを選挙する権利が成人に達した、すべての日本国民に与えられる原則ができました。

いわゆる憲法第十四条、第十五条の規定がそれで、まず第十四条ではすべての国民は法の下に平等であり、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により政治的、経済的、又は社会的関係において、差別されないと十五条では、公務員の選挙について

前号で選挙とは、私たちの現代社会の間接民主制を運営する代表者を選ぶという行為で、そのことがいかに大切なものであるかが、よくわかつていただけたと思います。

今月は、その選挙という権利を法律的に決めるところの「選挙権」ということについて考えて行きましょう。

では、成年者による普通、平等の選挙を保障することがうたわれています。

こういう原則に基づいて、選挙に参加する。つまり投票をするためには、選挙人名簿に登録されていることが必要です。それは、選挙権がある者だということを証明する公簿だからです。

ですから、投票当日、選挙人名簿に登録されていない者は投票することができません。

▼ 消極的要件

- ① 精神異常者などで、裁判所から禁治産の宣告を受けている者であること。
- ② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行中の者でないこと。
- ③ 法律で定めるところにより行なわれる選挙、投票または国民審査に関する犯罪により禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行猶予中の者でないこと。
- ④ 選挙犯罪による処刑者で選挙権が停止されている者でないこと。

選挙啓発シリーズ

村民の広場

| 種 目 | 特 性 |
|------------------|-----------|
| (1) 反復横とび | 敏しょ う性 |
| (2) 垂直とび | 瞬発力 |
| (3) 握 力 | 筋 力 |
| (4) ジグザグ ドリブル | 巧ち性 |
| (5) 急 歩 | 持久性 |



以上の積極的および消極的要件に該当する人が選挙人名簿に登録される者ですが、これらの登録は、毎年九月一日現在により九月十日に登録をする定時登録と、選挙のつど行なわれる選挙時登録が併用されています。

なお、選挙人名簿の定時登録、または選挙時登録の際にすでに登録された資格を有していた者の登録もあった場合には、その者が引き続きその資格を有している場合に限り登録をすることができます。これを補正登録といいます。従つ

て、市町村の選挙管理委員会では、選挙人からの申出等によって登録もれを知った場合には、投票日でも、この補正登録を行ないその選挙人が投票できるようにしてあります。

さて、これまで選挙権について一緒に考えてきましたが次回には「被選挙権について」を予定しております。

清き一票で 自治光る

世帯更生資金貸付制度の あらまし

世帯更生資金貸付制度を、村民により広く利用してもらうため、従来まで五名だった村民生委員が十二名に増え、選出されました。

世帯更生資金貸付制度は、低所得世帯や身体障害者世帯の経済的独立自活を助けたり、また、より一層、生活意欲を高めることができるようにするため、低利の資金の貸付けと同時に、必要な援助指導を行なう制度で、すでに広く村民に利用しているただいているものです。

このたび選任されました民生委員は、資金の貸付対象となる低所得世帯、または、身体障害世帯について常に調査を行ない、その実態を把握し、指導計画をたて、資金の貸付けのあっせん等、所要の援護指導を行なうことになっています。

世帯更生資金貸付制度のあらましを大まかに御紹介します。

▲制度の特色

この資金の貸付は、県社会福祉協議会が主体となり、業務の一部を市町村社会福祉協議会に委託して、その取扱いに当っています。

また、この制度で最も重要な点は貸付対象となる世帯の調査、貸付のあっせん、借受世帯に対する援助、指導、相談および貸付償還業務への

協力など、民生委員に特別の役割が与えられ「しあわせを高める運動」の推進と密接な関係にあり、その運動の貴重な社会資源となっています。

▲貸付対象世帯

低所得世帯と身体障害者世帯が対象とされます。

▲貸付資金の種類

①更生資金 ②身体障害者更生資金 ③生活資金 ④福祉資金 ⑤住宅資金 ⑥修学資金 ⑦療養資金 ⑧災害援護資金

▲現在の本村の民生委員を御紹介します。

●与那嶺 英光・幸地一二〇



●宮平初子・与那城二六三



●与那嶺明子・嘉手丸一四



●呉屋嘉真・小波津五二五



●安里寛盛・上原一〇九



うちに行なわれました。

宇久田会長のあいさつの後、昭和四八年度の事業経過報告、決算承認

力強い実績発表を行ないました。
▲ 吳屋光子・あやめグループ（小波津）

「私が生活改善グループで得たこと」

▲ 比嘉千代・幸地生改グループ

「健康なくらしをめざして」

▲ 花城秀子・我謝豊子・兼久五月グ

ループ
「おやつに最適な野菜入り

ドーナツの作り方」

▲ 田場盛一（池田）

「昭和四八年度本土視察研修報告」
なお、発表の具体的な内容は、次回

広報から、四回にわたって御紹介致します。

● 伊集盛光・我謝二四一



● 金城澄・安室四二二



● 川満正一・池田七七二



※ 敬称略

去る四月二

六日、午後二

時から、村役

場ホールで、

西原村普及事

業連絡協議会

（宇久田朝秀

会長）の第十

回定期総会及

び第四回実績

発表会が行な

われました。

会場には、

会員及び来賓

が約百二十名

出席し盛況の

西原村普及事業連絡協議会

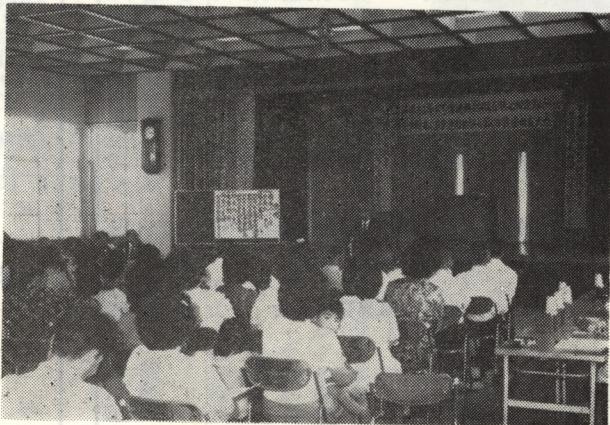
第10回定期総会

及び 第4回実績発表会

本村の農研、生改 各単位クラブ支部長
及び会員状況

農研クラブ

| クラブ名 | 会長名 | 会員数 |
|-------|-------|-----|
| 土原農研 | 屋良朝信 | 12 |
| 嘉手苅農研 | 中谷善盛 | 7 |
| 池田農研 | 川満正一 | 8 |
| 小波津農研 | 与那峯太郎 | 8 |
| 合計 | | 35 |



農業に計画性と実践力を……

〔盛況の総会会場〕

昭和49年度事業計画（案） 生改の部

| 月 | 項目 | 事業内容 | 場所 |
|-----------|---------------------|--------------------------------------|---------------|
| 4月 | 役員会 総会 | 新年度事業実施について 普及事業連絡協議会総会 | 役場 〃 |
| 5 | 研修会 講習会 | 食改善施設研修、反省会 行事食の作り方について | 南西部 役場 |
| 6 | 調査 講習会 | 食生活診断について 診断結果により講習 | 〃 〃 |
| 7 | 〃 〃 | 苗床のつくり方について 食生活講習会 | 〃 〃 |
| 8 | 研修会 説明会 | プロジェクト活動の持ち方 について 新規事業の説明会について | 〃 〃 |
| 9 | コンクール 講習会 | 料理コンクール 家庭着の作り方 | 〃 〃 |
| 10 | 視察研修 幹部研修 | 先進地視察研修 地区幹部研修 | 本土 中部 |
| 11 | 発表会 展示会 | 地区生活改善発表会 林産業展示会 | 〃 役場 |
| 12 | 幹部研修 発表会 視察研修 | 中央リーダー研修会 中央生活改善発表会 本島内視察研修 | 那霸 〃 北部 |
| 昭50年 1 | 巡回講習 | 農繁期対策について | 村一円 |
| 2 | 巡回指導 | 農繁期対策について | 村一円 |
| 3 | 巡回指導 | 農繁期対策について | 村一円 |

昭和49年度事業計画（案） 農研の部

| 月 | 項目 | 事業内容 | 場所 |
|------------|-----------|----------------------------|---------|
| 4月 | 役員会 総会 | 新年度事業実施について 普及事業連絡協議会総会 | 役場 〃 |
| 5 | 交換会 | 村内クラブ間意見交換会 | 〃 |
| 6 | 講習会 | 夏野菜栽培講習会 | 〃 |
| 7 | 懇談会 | 花弁栽培について | 〃 |
| 8 | 講習会 | 農業講座（経営について） | 〃 |
| 9 | 視察研修 | 先進地視察研修 | 本土 |
| | 講習会 | 土壤管理と線虫について | 役場 |
| 10 | 視察研修 | 島内モデル地域視察研修 | 本島内 |
| | 懇談会 | 施設園芸について | 役場 |
| 11 | 発表会 | 地区発表会 | 地区 |
| | 展示会 | 村産業展示会 | 役場 |
| 12 | 講習会 | 施設内の管理作業について | 〃 |
| 昭50年 1月 | 巡回指導 | ハウス野菜管理作業について | 村一円 |
| 2 | 〃 | 〃 | 村一円 |
| 3 | 発表会 | 村普及事業発表大会 | 役場 |

生活改善グループ

| グループ名 | 会長名 | 会員数 |
|----------|--------|-----|
| やよい（上原） | 安里春子 | 6 |
| 棚原生改 A | 伊波ヒデ子 | 9 |
| 棚原生改 B | 伊波千代 | 12 |
| 幸地生改 | 与那峯清子 | 10 |
| 池田生改 | 儀間トヨ | 11 |
| あやめ（小波津） | 玉那霸キヨ子 | 9 |
| でいご（〃） | 小波津キク | 6 |
| むらさき（〃） | 与那峯秀子 | 6 |
| 若妻（〃） | 呉屋啓子 | 5 |
| 五月（兼久） | 山内夏子 | 13 |
| 栄（〃） | 新垣美津子 | 8 |
| かんな（新部落） | 桃原トシ | 10 |
| 与那城生改 | 新川静江 | 10 |
| 桜（小那霸） | 中山光子 | 12 |
| 合計 | | 127 |

西中、女子バスケットチーム

二度目の全島征覇



練習にも熱がはいる

[西中女子バスケットチーム]

バスケットボールはすばらしいスポーツと、今彼女たちは勉学のかたわら毎日朝夕の練習に励んでいます。レギュラーは三年生でかため、十九名もあり、一、二年生を合わせて七十名もいる大世帯。監督兼コーチは、比嘉盛勝教諭で「人生はマラソン」をモットーに毎日、彼女たちに忍耐強い精神とチーム、ワークを中心とした練習、指導を行なっているところ。

彼女たちは、バスケット部での活動を通して「礼儀正しさ」とか「忍耐力」とか「チーム、ワークの大切さ」とか「他校の生徒との友情」とか、学ぶことが沢山あって楽しい、と陽やけした顔に健康の笑みを浮かべながら語っていた。

六月には、また、全島大会があるとかで、今、それに向けて一生懸命トレーニングの際に。レギュラーの三年生は「それが終ると受験が待つているし、悔いのない大会にしたい」と、その力強い抱負のいったんのぞかしていた。

「頑張れ、頑張れ、西中！」私たちも心から応援し期待しますよう。

永い、苦しい試合の連続を数字で紹介すると次の通りです。
第一日目の三月二十七日の第一戦は、対玉城中戦 五十一対二十一で勝ち。
第二日目、二十八日の第二戦、対山谷中戦、五十六対八で勝ち。第三戦、対コザ中戦、六十二対六十一で勝ち。

最終日の第四戦、対普天間中戦、五十三対四十一で勝ち。優勝戦、対北谷中戦、三十七対三十五で優勝。

喜びの声を、じかに彼女たちの口から聴くと、優勝なんて、ねらっていなかったとのこと。ただ一戦一戦をキャップテンの伊波田鶴子選手を

がえる。

優勝戦の対北谷中戦は、第三戦のコザ中戦に劣らないシーソーゲームとなり、これもかなりきつかったそ。でも、せり合いに勝つた経験が生かされ、見事に一ゴル差でライバルを下して二度目の全島征覇を成しとげた。



告 知 板

日本脳炎の予防接種実施



四月二十七日、二十八日の二日間にわたりて西原村役場ホールで日本脳炎の予防接種が行なわれました。

今度の予防接種は、満三才以上から中学生三年生まで約二、二〇〇名が対象。

二日間で二、二七〇名の幼児、生徒が接種を受け接種事務関係者は、当初、何名の生徒たちが予防接種に来てくれるか心配だったが、おりからん雨にもかかわらず、ほとんどの対象者が接種を受けボットしていた。

なお満三才児対象の日本脳炎の予防接種を次の通り予定しています。
もれなく接種を受けよう御案内致します。

- ▲ボリオ予防接種への案内
- 第一回目：五月二十六日（日）午前九時から午前十一時まで
ボリオは急性灰白髄炎の予防接種で、対象は、生後三ヶ月から十八ヵ月までの幼児となっています。
- 第二回目：五月二十九日、午前九時から午前十一時まで
なお、当日注射一人あたり三五〇円の料金が出来ます。母子手帳も必ず持参して下さい。

◆生活テレビ番組◆

「くらしとあなた」 案 内

五月十日、金曜日

『モデル チェンジ は誰のため?』

省資源 という言葉が話題

にのぼつている時

に、企業

は電気洗

当日は、母子手帳を必ず持参して下さい。

『保育所へ灯を』

▲五月三十一日、金曜日

『保育所がたりない』という声を私たちはどう考えたらよいのだろうか。

行政や地域ぐるみ運動、自治体に対する働きかけなど問題は山積してい

る。番組では、保育所の現状をレポートしながら、保育所のあり方や母

親たちの要望などオールフィルムで

描く。

デルチエンジをくり返し、新製品を市場に送りこんでいる。

こうした企業側の姿勢は消費者を無視した商法との声もある。

番組では、耐久消費材のモデルチエンジをとりあげ、企業側、消費者側の意見をききながら、省資源問題という観点から考えてみる。

▲五月二十四日、金曜日

『スーパーは本当に安いか』

急速に成長したスーパー・マーケットは、消費者にどう受けとめられているのだろうか。大型化してゆくスーパー・マーケットに対する消費者からの苦情もきかれる。初期の役割とは何だろうか。番組では、これから

のスーパー・マーケットのあり方など消費者の声をまじえて考えてみる。